

守谷ボランティア NEWS

2026年2月号（毎月1日発行）



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320
Email：supportcenter@moriya-cac.org
ホームページURL：<https://moriya-cac.org/>
開館時間：午前9時～午後5時（午後8時まで延長可）
休館日：月曜日、年末年始

第4回肢体不自由児・医療的ケア児の写真展「日々を紡ぐ」

医療的ケア児等の写真展を開催します。子どもたちの日常の姿やイベントの様子、医療機器などを写真にしました。
ぜひご覧ください。

- 日時・場所 ①2月15日(日)～27日(金) 南守谷児童センター(ミ・ナーデ)
②3月6日(金)～25日(水) 市役所 1階ロビー
- 主催・問合先 肢体不自由児・医療的ケア児の家族会 そら～ち ☐sorachi2021niji@gmail.com



守谷Scratch勉強会参加者募集！

子供向けプログラミング言語Scratchで作ったゲームなどを披露しあいます。初めてScratchに触れるお子さんも参加できます。筑波大名誉教授の講師から、プログラミングの一般的な概念やパソコンの仕組みなども教えてもらえます。

- 日時 第2、第4日曜日 10:30～12:00
- 場所 市民活動支援センター 会議室
- 対象 小学2～6年生
- 定員 先着5組
- 参加費 無料
- 持ち物 ノート、鉛筆、パソコン
(貸出可、Wi-Fiあり)
- 申込締め切り 各回開催日前日
- 申込方法 各回開催日前日までにホームページから申し込む
<https://ameblo.jp/furuhogehome/>
- 主催・問合先 守谷Scratch勉強会
✉ scratchmoriya@gmail.com



もりサポ塾 2026年度生徒募集

経済的理由などの事情で、有料の学習支援の利用が難しい中学生のための塾です。市民ボランティアが基礎的な学習(英数)をサポートしてくれます。しっかり勉強に取り組む意欲がある市内の新中1・2・3年生を募集。一緒に勉強してみませんか。

- 日時 毎週木曜日 17:45～20:00
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 定員 10名程度
※定員超過や選考結果を含め希望に沿えないこともあります
- 料金 10,000円／年
- 申込方法 申込フォームまたはメールで申し込む
<https://forms.gle/Lm8tsYoKZKkdT5V17>
- 申込期間
2月20日(金)～3月20日(金)
- 問合先 かわさき
✉ morisapojuku@gmail.com



登録団体活動情報 2月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合先
楊名時太極拳守谷同好会ボランティア部	みづき野中央公園（雨天中止）	毎週火曜日 10:00～11:30	市民活動支援センター
	守谷中学校	毎月第1月曜日 10:00～11:00	
フォトクラブ写遊 写真展、撮影会の開催	北守谷公民館または中央公民館	第4土曜日 9:00～16:00	金澤 080-5508-6081

助成金情報	
* 内容は変更になる場合があります。 各HPをご確認ください。	
社会教育	～2/16 伴走型就学・学習支援活動助成 公益財団法人 櫻の芽会 https://www.kashinomekai.or.jp/
環境	～2/28 第15回杉浦地域医療振興助成 公益財団法人 杉浦記念財団 https://sugi-zaidan.jp/
医療・福祉	～2/28 2026年度 障がい者団体助成事業 公益財団法人 日本理学療法士協会 https://www.japanpt.or.jp/

豆コラ

市民活動に参加する現役世代が少ないことは、地域社会における大きな課題です。私たちはこれまで、現役世代に参加を促す取り組みを行ってきましたが、仕事や家事、子育てに忙しい現状から、十分な成果を得ることはできませんでした。そこで、現役世代になってから意識を変えるのではなく、幼少期からの関わりが重要であると考え、視点を転換しました。こどもは比較的の時間に余裕があり、新しい経験を柔軟に受け入れやすい時期です。私たちは、こどもが市民活動に興味をもてる体験型イベントなどを実施し、社会や地域と関わる機会を提供しています。幼い頃から参加する経験を積むことで、大人になってからも違和感なく、限られた時間の中でボランティアや市民活動に参加できるようになり、将来の持続可能な地域づくりにつながると考えます。



こんにちは！守谷のボランティアさん

「テニピン普及促進会」テニピン体験講座の活動を取材してきました

2026年1月17日(土曜) 13時00分～15時00分 @市民ギャラリー

今年度設立されたボランティア団体「テニピン普及促進会」は、代表の平川さんが、市民科学ゼミにおいて健康づくりを目的としたテニス協議『テニピン』の研究成果を「市民提案型協働事業発表会」で発表したことをきっかけに発足しました。市の生涯学習課と連携し、まずは北守谷地区でテニピンの認知拡大を図り、将来的には「テニピン王国もりや」の実現を目指して活動しています。



今回は初回ということもあり、参加者が集まるか不安もあったそうですが、当日は30名が参加。足の不自由な高齢の方が「自分にもできるかな」と見学に訪れたり、お孫さんと一緒に参加する姿も見られたりと、世代を超えたにぎやかな講座となりました。

はじめにテニピンを紹介するビデオを鑑賞です。内容はわかりやすく楽しく構成されており、参加者の関心を高め、大きな反響がありました。

*テニピンとは、テニスとピンポン（卓球）を組み合わせた、誰でも簡単にテニスが楽しめるように考案されたネット型ボール運動



続いて行われたのは、段ボールを使った「マイラケット作り」です。手のひらに装着できるタイプで、材料費もかかりず、誰でも簡単に作れる工夫が施されていました。準備

にあたっては、他団体の協力も得られました。会場には、キャラクターが印刷された紙や折り紙、テープなどが用意されており、参加者は自由に装飾を楽しんでいました。こうして工夫を凝らした世界に一つだけの「マイラケット」の完成です。完成後は、作ったマイラケットを使って自由に打ち合いを楽しみ、自然と参加者同士の交流が生まれていました。スタッフは、転倒や怪我が起きないよう安全面に十分配慮しながら、温かく見守っていました。

休憩をはさんだ後、3人1組の試合が行われました。大人同士、小学生同士、親子など多様なチーム編成で、スタッフがルールを丁寧に説明しながら、和やかに試合が進められました。

試合前には平川さんが子どもたちを集め、勝敗や難しいルールにこだわるのではなく、相手が打ちやすいボールを返し、ラリーを続けることの大切さを伝えていました。参加者同士が思いやりを持って楽しむ、テニピンならではの交流の場となっていました。



平川さんは、今後メンバーを少しずつ増やし、他団体や行政と連携しながら、6年後に迎える守谷市制30周年イベントで大きく盛り上げることが目標と語ります。また、テニピンを通じて人とのつながりが生まれ、自身も人にやさしく、楽しく、仲良くなれたと、前向きな変化を実感しているそうです。

テニピンは、世代や立場を超えて人と人を結びつける力を持っています。平川さんの思いと活動が更に広がることで、守谷市に笑顔と交流の輪が一層広がっていくことが期待されます。今後の「テニピン普及促進会」の取り組みに注目し、引き続き応援していきたいと考えます。